

## 課題対応取組み報告書

名称	東成区北部地域包括支援センター
提出日	2023 年 7 月 3 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設 (居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	認知症の啓発 (予防含む) と判断能力が低下した際の選択肢としてのあんしんさぼーと事業の啓発	
地域ケア会議から 見えてきた課題	認知症が重度化し、判断能力が低下して、金銭管理等が上手く行えず、ライフラインの滞納や、経済的な困窮に陥ってからの相談が多い。早い段階での認知症支援に繋がるための、相談窓口の周知、認知症の理解についての啓発、認知症への備えや予防が必要。	
対象	地域住民と専門職	
地域特性	昨年度東成区は大阪市24区にある認知症初期集中支援チーム (オレンジチーム) のうち、相談実件数が一番多くなっており、各種関係機関との連携や、窓口の周知が進んでいると思われる。	
活動目標	①認知症予防や、介護予防における口腔ケアの重要性の周知 (地域住民向け) ②判断能力が低下してきた際の選択肢として、あんしんさぼーと事業の活用の啓発 (専門職向け)	
活動内容 (具体的取組み)	<b>①知って得する連続講座 お口からはじめる認知症予防</b> 認知症施策推進実務者会議で、今年度の地域向けの出前講座 認知症編についてのテーマを検討。歯科医師会に講師の協力を依頼し、令和4年9月より各地域の会館にて ・お口の健康と認知機能について ・オーラルフレイルとセルフチェックについて ・お口の動きや飲み込む力をアップさせる体操について ・かかりつけ歯科医を持つことの大切さについて ・認知症の相談窓口について (包括やオレンジチームの案内) についての啓発を全11地域の憩の家、会館で実施。 強化型包括としては、歯科医師会との調整や、アンケートの作成、集計などの取りまとめを行う。 <b>②認知症多職種研修会 今だからこそ伝えたいあんしんさぼーと</b> 令和4年12月19日医師会館にて、東成区社会福祉協議会あんしんさぼーと担当：辻氏、横山氏と、生活支援グループ：内原マネジャーを講師に専門職向けにあんしんさぼーと事業についての勉強会を実施。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	①お口からはじめる認知症予防 参加者11地域合計140名、プログラムの満足度は、満足、ほぼ満足の合計は91%。今後の認知症の相談先としてオレンジチームとの回答が昨年度6%から、10%へup。 ②今だからこそ伝えたいあんしんさぼーと 参加者35名中、あんしんさぼーと事業については84%が知っていたが、提案や説明については約70%がしたことが無いと回答。参加者の96%がとても理解が深まった、理解が深まったと回答。	
今後の課題	出前講座アンケートより、独居の方等で、自分が認知症になった際の不安や、周囲への迷惑を気にされている方が多かった。実際に独居の認知症高齢者が、ライフライン滞納や、金銭管理が上手くいかず、生活に支障が出ているケースが増加しているため、早期に認知症支援のネットワーク (地域や友人等も含めた) に繋げることや、認知症になった時の備えについての啓発を続けていく必要がある。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和5年7月25日 (火)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目 (特性) についてのコメント  * 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議会 からの意見等を記載。	・社協等地域の関係機関と連携し、その課題に取り組まれたことから地域性がある。 ・また、この課題に関わる対象者は増加しつつあり、地域への意識啓発、専門職との情報共有から段階的に取り組むなど、将来を見通した取り組みになっており、継続性がある。 ・知って得する連続講座では、継続的に認知症予防の取り組みがなされ、オレンジチームの認知度の向上データ結果などからも、活動の地域への浸透性が確認できる。 ・歯科医師会との連携事業を展開しており、チームアプローチによる専門性かつ他区ではまだ実施が少ない独自性のある取り組みである。 ・地域住民へは、今後も内容拡充含め、幅広く啓発し、気づきを促し、早期対応ができるようお願いしたい。 ・専門職向けでは、講義を受けていない者などいることから一回の講座で終わらず、定期的開催するなど資質向上の取り組み継続をお願いしたい。	